

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1040	(H.25)No.	1040
-----------	------	-----------	------

事務事業名	軽度生活援助事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	谷本 佳司	

会計区分	事業コード	142201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	軽度生活援助事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	軽度生活援助事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
日常生活上の軽度の援助が必要な単身高齢者等が、在宅での自立した生活を継続し、要介護状態に陥ることを予防することができる。
事業内容
市が事業を委託している事業者により、家事援助及び軽作業等の援助を行う。 対象者は老化等の理由により、軽度な生活上の援助が必要な65歳以上の単身者、高齢者のみの世帯。利用者負担は、1時間当たり400円で月4時間を利用限度とする。 市の委託料は、1時間当たり525円。 事業はシルバー人材センターに委託。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・平成26年3月31日現在 登録者数: 784人 ・500円×6,462.5時間 ≒3,231千円	・525円×7,005時間=3,678千円	・525円×7,005時間=3,678千円	・525円×7,005時間=3,678千円	・525円×7,005時間=3,678千円

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	3,231千円	3,678千円	3,678千円	3,678千円	3,678千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 3,231	3,678	3,678	3,678	3,678
人工数					
職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
②概算人件費	(0千円) 600千円	600千円	600千円	600千円	600千円
①+②総事業費	(0千円) 3,831千円	4,278千円	4,278千円	4,278千円	4,278千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として順調に目標を達成できている。	引き続き、事業の啓発に努め、対象者に対し適切なサービスに努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	軽度な生活上の援助が必要な65歳以上の単身者、高齢者のみの世帯に対する保健福祉サービスの一躍を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	委託先を地域ボランティア組織等へ拡充していく他、実情に応じた事業を考える。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
委託先を地域ボランティア組織等へ拡充していく他、実情に応じた事業を考える。	